

大学院 副専攻プログラム 「地域創造科目」

Minor program for the graduated students :

The Creative Education Program about local problems

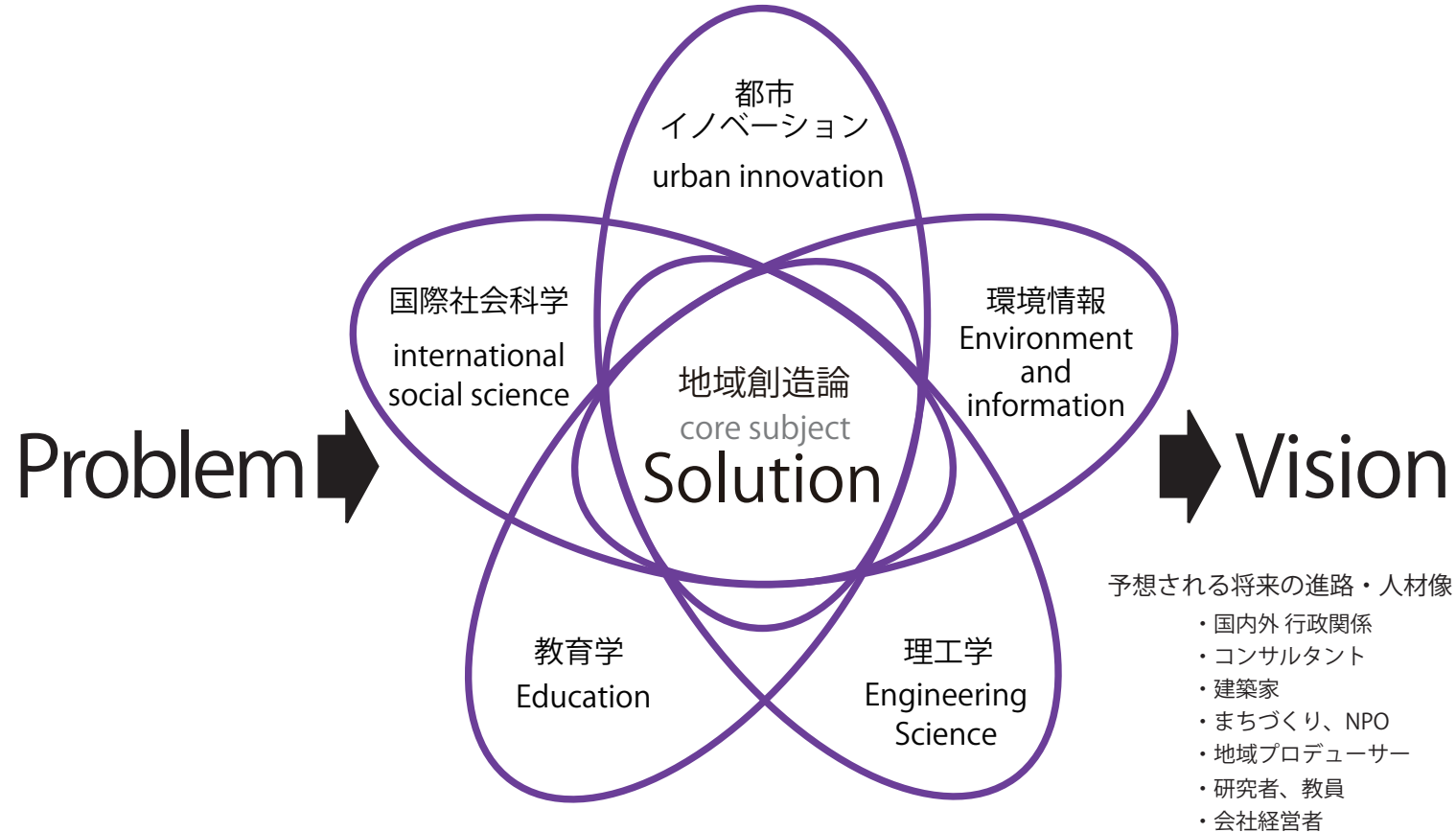
地域実践教育研究センター
Global-Local Education and Research Center

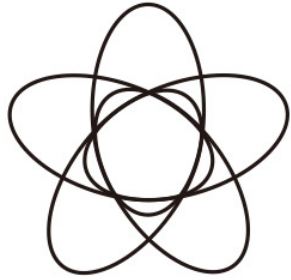
大学院副専攻プログラム:「地域創造科目」

Graduate School Minor program: Creative education program about local problems

複雑で解決困難な地域課題を題材に、各専門分野の活かし方を発見し開拓するプログラム。

This program trains students to find and develop their own specialty in the local subject in which solutions are complicated and difficult.





「オリエンテーション」

地域創造科目の説明・相談を行います。
履修する予定の人、関心・質問がある人は参加して下さい。

詳しくは下記サイトの情報をご確認ください。
<https://www.chiki-ct.info/sozo>



「履修登録」

- ・必修コア科目「地域創造論」
- ・関連科目（各自が在籍する学府・研究科の開講科目から基本的には選択する。*注）

*注：関連科目の履修にあたり、提供形態①の科目については、当該科目担当教員の許可は必要ありません。（ただし、履修者が多い場合は制限する可能性があります。）

なお、自分が所属する学府・研究科以外の科目を履修する場合は、所属する学府・研究科での手続きが必要な場合があります。（履修案内等で確認してください。）



科目の構成

出典:シラバス

「地域創造科目」 8 単位以上

『地域創造科目』は、「参画登録申請」を申請した者を対象に、下記の修了要件を満たした者に対して、修了認定が行なわれます。

修了要件：①必修コア科目「地域創造論」2単位、②「関連科目」の「専門型関連科目」2科目以上4単位以上、および「実践型関連科目」1科目以上2単位以上、これらの合計8単位以上。



・主専攻のカリキュラムに掲載されている副専攻科目は主専攻の卒業要件に含むことができます。ただし都市イノベーション学府の学生が「地域創造論」を本副専攻の科目として履修した場合は主専攻の卒業要件に含むことができません。

★都市イノベーション学府の学生：修了必要単位 30単位+2単位（地域創造論）=計32単位の取得が必要です。

☆都市イノベーション学府以外の学生：各学府・研究科の修了必要単位の中に地域創造論2単位を含めてください。

専門型関連科目・実践型関連科目

出典:シラバス

「地域創造科目」一覧

・カテゴリ①=必修科目/②=専門型関連科目/③=実践型関連科目
 ・提供形態:①すべての大学院学生が履修可能な授業科目/②すべての大学院学生が履修可能な授業科目であるが、履修するための前提条件が付された授業科目/③所属大学院学生のみが履修可能な授業科目

履修形態	科目コード	科目名	教員名	開講学期	曜日	時間	単位数	履修条件	備考	
大専 研 修 科 目	2 202701 202060(専修)	地域創造論	渡辺 隆太郎	秋	月	4	2単位	① ②		
	2 202701	総合的経済管理学Ⅰ	神井 伸博	春	月	4	2単位	① ②		
	2 202702	総合的経済管理学Ⅱ	神井 伸博	秋	月	4	2単位	① ②		
	2 202701	総合的経済管理学Ⅲ	神井 伸博	春	月	4	2単位	① ②		
	2 202702	経済政策と法制科論	中野 浩	秋	水	2	2単位+100	① ②		
	2 202701	202011(専修) 202012(専修)	リスクベースによる長期制度学	高田 洋	秋	金	4	2単位+300	① ②	①②は履修可能
	2 202701	202021(専修) 202022(専修)	経済産業科論	高田 洋	春	火	4	2単位+300	① ②	①②は履修可能
	2 202701	202031(専修) 202032(専修)	神奈川県の取組む技術課題	高田 洋	春	木	3	2単位+200	① ②	
	2 202701	202041(専修) 202042(専修)	リスクマネジメントと社会分析	竹内 伸博	秋	金	4	2単位+200	① ②	
	2 202701	202051(専修) 202052(専修)	リスク社会とコミュニケーション	藤岡 伸也	春	金	4	2単位+200	① ②	
	2 202701	202061(専修) 202062(専修)	地域経済政策科論	中野 浩	秋	水	3	2単位+100	① ②	
	2 202004	都市環境学概論	中野 浩	秋	水	1	2単位+100	① ②		
	2 202005	都市環境学Ⅰ	高田 洋	秋	水	3	2単位+100	① ②		
	2 202006	都市環境学Ⅱ	高田 洋	春	火	3	2単位+100	① ②		
	専 門 型 相 関 科 目	2 202001	地域計画論	中野 浩	春	木	2	2単位+100	① ②	
2 202004		国土地域学概論	藤岡 伸也	秋	水	3	2単位+100	① ②		
2 202004		国土地域学Ⅰ	藤岡 伸也	秋	水	4	2単位+100	① ②		
2 202005		国土地域学Ⅱ	藤岡 伸也	春	火	4	2単位+100	① ②		
2 202006		国土地域学Ⅲ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202007		国土地域学Ⅳ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202008		国土地域学Ⅴ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202009		国土地域学Ⅵ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202010		国土地域学Ⅶ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202011		国土地域学Ⅷ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202012		国土地域学Ⅸ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202013		国土地域学Ⅹ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202014		国土地域学Ⅺ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202015		国土地域学Ⅻ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
専 門 型 相 関 科 目		2 202016	国土地域学Ⅼ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②	
	2 202017	国土地域学Ⅽ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202018	国土地域学Ⅾ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202019	国土地域学Ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202020	国土地域学ⅰ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202021	国土地域学ⅱ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202022	国土地域学ⅲ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202023	国土地域学ⅴ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202024	国土地域学ⅵ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202025	国土地域学ⅶ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202026	国土地域学ⅷ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202027	国土地域学ⅸ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202028	国土地域学ⅹ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202029	国土地域学ⅺ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	専 門 型 相 関 科 目	2 202030	国土地域学ⅻ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②	
2 202031		国土地域学ⅼ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202032		国土地域学ⅽ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202033		国土地域学ⅾ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202034		国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202035		国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202036		国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202037		国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202038		国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202039		国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202040		国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202041		国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202042		国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202043		国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202044		国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
専 門 型 相 関 科 目	2 202045	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202046	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202047	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202048	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202049	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202050	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202051	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202052	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202053	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202054	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202055	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202056	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202057	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202058	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
	2 202059	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②		
2 202060	国土地域学ⅿ	藤岡 伸也	春	火	3	2単位+100	① ②			

※1: 独自に参画するボランティアや学部生向けの地域交流科目「地域課題実習」のプロジェクトのマネジメント等の実践性の高い活動については、審査の上、当プログラム上のみ独自認定（2単位相当）する。ただし、正規単位ではない。

各授業の提供形態:

- ①すべての大学院学生が履修可能な授業科目
- ②すべての大学院学生が履修可能な授業科目であるが、履修するための前提条件が付された授業科目
- ③所属大学院学生のみが履修可能な授業科目

「地域創造科目 参画登録申請」フォームへの申請

出典:シラバス



*注：関連科目の履修にあたり、提供形態①の科目については、当該科目担当教員の許可は必要ありません。（ただし、履修者が多い場合は制限する可能性があります。なお、自分が所属する学府・研究科以外の科目を履修する場合は、所属する学府・研究科での手続きが必要な場合があります。（履修案内等で確認してください。）



地域創造科目「参画登録申請」フォームへの申請

申請書×切：4月8~24日 or 10月1~25日

☆副専攻プログラムとして受講し、修了認定を得る場合には、地域創造論が始まる前に下記の申請が必要です。

「参画登録申請」フォームについては、
下記の地域実践センターのWEBサイトにリンクされています。

<https://www.chiki-ct.info/sozo>



申請書類

1. [様式1] 地域創造科目「参画登録申請」フォーム

* 大学院副専攻プログラム「地域創造科目」に参画する方は、「参画登録申請」フォームに記載をして登録してください。

* 「参画登録申請」フォームに記載する内容は、下記の「参画登録申請書」と同じ内容です。下記書面にまずは記載をして、自分自身の手持ち書面として保管すると良いです。

「参画登録申請書」(手持ち用資料)

2. [様式2] 地域創造科目 実践型関連科目『その他』実践活動報告書

* 様式2の提出を必要とする対象者は、実践型関連科目を「その他『独自に参画する実践性の高い活動』」で独自認定されたい方です。

* 副専攻プログラム「地域創造科目」においては、地域課題実習や地域におけるボランティア活動などを、「実践型関連科目」における「その他『独自に参画する実践性の高い活動』」として、副専攻プログラム「地域創造科目」上では2単位相当の単位を独自認定するために申請することができます。(ただし正規単位にはなりません。)

① まず、地域創造科目を参画登録する際に、様式1の「地域創造科目 参画登録申請フォーム」において、実践型関連科目の「その他」として実践する活動内容を記載してください。

② 1年ほどの実践活動を踏まえて、修士修士課程の修了をむかえる年度末(2月中旬)までに、様式2の「実践活動報告書」を記載して、地域実践教育研究センターまでメールで提出してください。

③ その他『独自に参画する実践性の高い活動』として「地域課題実習」を選択する場合には、学部副専攻プログラム地域交流科目の履修案内(シラバス)を参照にして、参画するプロジェクトを「地域課題実習への参画プロジェクト申請サイト」へ参画登録してください。

[様式1]「地域創造科目 参画登録申請」フォームへの申請

<http://chiki-ct.info/sozo>

地域創造科目 「参画登録申請」 フォーム

* 必須

1. 氏名 *

回答を入力してください

2. 所属学府・研究科 *

回答を入力してください

3. 専攻 *

回答を入力してください

4. 学籍番号 *

回答を入力してください

5. 連絡先（メールアドレス） *

回答を入力してください

6. 貴方が修士課程を修了する予定時期を記載してください。
(例1: 202●年3月 / 例2: 202●年9月) *

回答を入力してください

7. 所属における研究等のテーマ *

[様式1]「地域創造科目 参画登録申請」フォームへの申請

<http://chiki-ct.info/sozo>

[様式1]に記載する内容 (手持ち用資料:エクセルデータ)

「参画登録フォーム申請書」に記入する前に、この資料(エクセル)に申請する内容を記載し、各自手元に保管しておいた方がいいです。

地域創造科目「参画登録申請」	
(様式1)	
*当書面と同じ内容を別途の「参画登録申請」フォームに記載して頂きます。当書面は手元資料として保管してください。	
提出日 年 月 日	
氏名	
所属学府・研究科	
専攻	
学籍番号	
連絡先(メール)	
【成績の照会について】副専攻プログラム「地域創造科目」の修了証は、「参画登録申請書」を申請した方を対象に修了証が発行されます。必要単位の取得状況は、修了式前の時期に事務局が学務を通じて照会をかけて確認します。照会をかけることに承諾できるか、できないか、下記欄に○マークを入れてください。 (照会を承諾できない場合は、成績証明書を取得いただき、事務局に提出する必要性が出てきます。)	
成績の照会	承諾します 承諾しません
修士課程を修了する予定時期	
所属における研究等のテーマ	
■履修計画	
科目	単位数
必修コア科目	
関連科目	専門型
	実践型
	(独自認定)
	活動時期:
■副専攻プログラム「地域創造科目」の履修にあたっての各自の目標 (特に、実践型関連科目で独自認定を希望する場合は、簡単な活動計画案を書いてください。)	
■指導教員の承認 貴方が「地域創造科目」への参画することを、担当教員は承諾されましたか。 (承諾された場合は、下記のチェック欄にマルあるいはチェックマークを入れてください。)	
指導教員名:	
	承諾しました

[様式2] 地域創造科目 実践型関連科目『その他』実践活動報告書

<http://chiki-ct.info/sozo>

[様式2] はWord書面です。WEBサイトからダウンロード可能。

*様式2の提出を必要とする対象者: 実践型関連科目を「その他『独自に参画する実践性の高い活動』」で独自認定されたい方です。

*副専攻プログラム「地域創造科目」においては、地域課題実習や地域におけるボランティア活動などを、「実践型関連科目」における「その他『独自に参画する実践性の高い活動』」として、副専攻プログラム「地域創造科目」上では2単位相当の単位を独自認定するために申請することができます。(ただし正規単位にはなりません。)

①まず、地域創造科目を参画登録する際に、様式1の「地域創造科目 参画登録申請フォーム」において、実践型関連科目の「その他」として実践する活動内容を記載してください。

②1年ほどの実践活動を踏まえて、修士課程の修了をむかえる年度末(2月中旬)までに、様式2の「実践活動報告書」を記載して、地域実践教育研究センターまでメールで提出してください。

③その他『独自に参画する実践性の高い活動』として「地域課題実習」を選択する場合には、学部副専攻プログラム地域交流科目の履修案内(シラバス)を参照にして、参画するプロジェクトを「地域課題実習への参画プロジェクト申請サイト」へ参画登録してください。

地域創造科目 実践型関連科目「その他」認定申請書

『実践活動報告書』

実践型関連科目「その他」の認定を受けようとする者は、当「実践活動報告書」を修士課程修了時の1-2ヶ月前までに地域実践教育研究センターに提出してください。

1.氏名・学籍番号・所属

氏名		学籍番号	
所属			

2.実践活動の活動期間・活動先

活動期間(※注1)	年 月 ~ 年 月
活動先	以下の該当する項目に○を付けてください。 研究室 ・ NPO ・ 行政 ・ 企業 ・ 地域課題実習 ・ 個人による活動 ・ その他
活動先の代表者あるいは担当者による確認	貴方の活動先における代表者あるいは担当の方に、下記の「3.実践活動の報告」を確認頂いてください。 ご確認を頂きましたら、当欄の下記内容を自分自身で記載・記入してください。 ●確認日: 年 月 日 ●所属先・役職: ●連絡先(電話あるいはEメール): ●代表者・担当者名: ●代表者・担当者に当書面内容をご確認頂きましたか(○を付けてください): 確認済み / 未確認

3.実践活動の報告(記載すべき項目内容: ①設定した地域課題、②活動において自身の専門性あるいはプロジェクト・マネジメント面など、大学院生の立場として貢献できた点 / 文章量: 当書面上に1-2枚程度記載)



「修了認定」

- 副専攻の修了認定は「参画登録申請」を申請した方を対象に、修士課程2年の修了時に修了認定がされます。
- 必要単位の取得状況は、修了式前の時期に事務局が学務を通じて確認します。
- 短縮卒業や留年後の卒業、長期履修制度による卒業など、卒業時期が通常と異なる場合には卒業3ヶ月前までに地域実践教育研究センターにお知らせください。
- 成績証明書の特記事項欄には「副専攻プログラム（地域創造）修了」と記載されます。
- 実践型関連科目を「その他」の「独自に参画する実践性の高い活動」で単位認定を受ける場合は、（様式2）地域創造科目 実践型関連科目「その他」認定申請書と、活動内容について記した「レポート（A4版1枚ほど）」の提出が必要です。様式2の申請書はWEBサイトからダウンロードしてください。

レポートの提出 〆切：8/23（9月修了の場合）

2/14（3月修了の場合）

*提出先：地域実践教育研究センター（chiki-ct@ynu.ac.jp）

教育研究科、国際社会科学府、環境情報学府、理工学府の学生対象： 「地域創造論」の単位履修・時間割コードの選択について

「地域創造論」の単位を自分自身が在籍する専攻の修了要件の単位数に入れたい場合は、各学府によって特殊な取り扱いが必要になります。

「地域創造論」に関わる時間割コードは、シラバス上に3つあります。(時間割コードの細かい数値は、毎年変わる場合があります。)

9GC2101(大学院 全学教育科目)

RC00060(都市イノベーション学府)

UC07008(先進実践学環 学府)

○学務情報システム上の履修登録においては、学生各自が所属する学府・研究科における「地域創造論」の時間割コードを履修登録する必要があります。ただし、教育研究科、国際社会科学府、環境情報学府、理工学府の学生で、「地域創造論」の単位を自分自身が在籍する専攻の修了要件の単位数に入れたい場合は、自身が所属する学府の学務係(事務)にお問合せをして確認してください。

地域創造論

2050年までをシミュレーションし、創造する。

昨年度までのテーマ「次世代の横浜・神奈川地域像を素描する」においては、2030年代半ばから2050年まで頃を想定して、「バックキャストイング」手法により、目指すべき将来ビジョンを明確にしつつ、現在起こすべきアクションを考えることを行なった。

今年度からのテーマは、昨年度までのテーマを踏まえて上書きし、「2050年までをシミュレーションし、創造する。」をテーマとする。2050年を「鮮やかに創造」できるようになるよう、「客観的な分析を通じたシミュレーション力」と「学際的な視点や知識を融合した創造力」を養うことを目標として、各講義とグループワークを実施する。

●グループワーク

2050年は具体的にどのような状況になりそうなのか、対象地域を選定し、資料、データ、現地調査、ヒアリング調査等により客観的に分析し2050年までの状況をシミュレーションする。分析・シミュレーションを踏まえて、どのような方法で課題を克服していけば、どのような状態になれるかビジョンを提示する。

(2023年度の) 講義スケジュール

※課題図書:

授業日までに書籍を読んで、
LMS上に感想を提出してください。

・ゼロからの「資本論」:
齊藤幸平,NHK出版新書,2023

回	日程	講義テーマ	講師
01	10月9日	オリエンテーション: 地域創造論 / 副専攻プログラムについて / 履修者からの自己紹介	志村真紀(地域実践教育研究センター)
02	10月16日	概論1:ポートランドに学ぶ地球本位のこれからの都市づくり	山崎満広(客員教授)
03	10月23日	概論2:「ゼロからの『資本論』」を読んで (ディスカッション形式 ※課題図書)	志村真紀 池島祥文(国際社会科学研究院)
04	10月30日	ゲスト講義1:人生100年時代のつながりづくり	関ふ佐子(神奈川大学)
05	11月6日	ゲスト講義2: 途上国の都市を整備するーインフラとローカルコモンズ	三木はる香 (世界銀行 東京開発ラーニングセンター)
06	11月13日	グループワークに向けたワークショップ: 各学生の専門, 研究内容に関する発表	志村真紀・矢吹剣一(・山崎満広)
07	11月20日	概論3:都市のプランニング・メソドロジー	矢吹剣一(都市イノベーション研究院)
08	11月27日	ゲスト講義3:これからの時代に向けて考えたいこと (ディスカッション形式)	岡部友彦(コトラボ合同会社)
09	12月4日	グループワーク1:シナリオ・プランニング	
10	12月11日	グループワーク2:グループ結成	
11	12月18日	グループワーク3:対象地設置・ロジックモデルの仮策定	
12	12月25日	グループワーク4:客観的なデータの収集・調査・分析	
13	1月15日	グループワーク5:【中間発表会】	
14	1月22日	グループワーク6:ロジックモデルの策定(骨太なロジックモデルに一本化する)	
15	1月29日	グループワーク7:政策・事業スキームの検討	
16	2月5日	グループワーク8:最終発表会に向けた最終調整	
		最終発表会	ゲスト:高見沢実 志村真紀・山崎満広・矢吹剣一

*2月15日(木)午後:地域連携シンポジウム 第2部にてグループワーク優秀チームの発表



オープン・イノベーション